



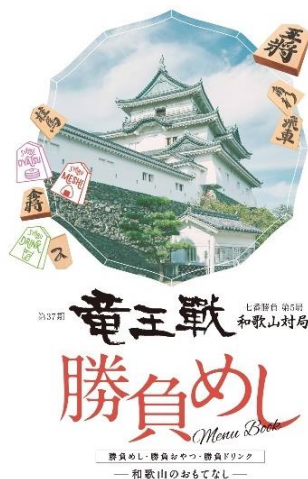
令和6年10月11日

担当課	文化振興課
担当者	福田、中井
電話	(073) 435-1194
内線	3027

和歌山の秋の味覚や映えるグルメ、定番から新商品まで 30 品が勢ぞろい！ 「第37期竜王戦第5局和歌山対局」 勝負めし・おやつ・ドリンクメニューブックが完成しました！

2024年（令和6年）11月27日（水）、28日（木）に和歌山城ホールで開催される「第37期竜王戦第5局和歌山対局」にて、藤井聡太竜王と佐々木勇気八段に提供する「勝負めし」「勝負おやつ」「勝負ドリンク」の候補メニュー、計30品をまとめたメニューブックが完成しました。

メニューブックは竜王戦の会場をはじめ、観光施設やイベント等でも配布し、訪れる観光客の皆さまに和歌山市の「食の魅力」を発信します。



【勝負めしメニューブックの内容と特徴】

和歌山市内 28 店舗が提供する自慢の「勝負めし」11品、「勝負おやつ」11品、「勝負ドリンク」8品、合計30品が掲載されています。いずれのメニューも、和歌山の豊かな自然が育んだ食材や、地元の特徴を生かした料理であり、対局棋士のお二人には、このメニューブックから対局中の昼食やおやつ、ドリンクを選んでいただく予定です。

＜一般販売：令和6年10月14日（月・祝）～令和7年1月13日（月・祝）＞

※メニューブックは、令和6年10月14日（月）から配布します。

【勝負めし候補メニューの審査】

- 応募数 153品（内訳「勝負めし」68品「おやつ」59品「ドリンク」26品）
- 応募期間 令和6年8月1日（木）～令和6年9月6日（金）
- 審査員 らんちのじょーおー（和歌山の「食」に関するインフルエンサー）
近藤 繭子（Lism 編集長）
中川 愛海（和歌山市観光発行人、フードアナリスト）
大平 泰弘（日本将棋連盟和歌山県支部連合会事務局長）
谷口 敬哉（和歌山市観光協会事務局長）
- 審査項目 ①県外に伝えるべき和歌山の魅力の妥当性
②和歌山の食材を使用できているか
③和歌山市の魅力が表現できているか
④独自性
⑤見栄え

【「勝負めし、勝負おやつ、勝負ドリンク」PRにご協力いただける方を募集】

第37期竜王戦七番勝負第5局和歌山対局の広報活動及び地域学習を目的とし、和歌山市内の児童または生徒から、メニュー考案の意図や食材、製造過程等についてインタビュー及び試食を行い、PRにご協力いただける方を募集します。

- <内 容> 「勝負めし、勝負おやつ、勝負ドリンク」に選ばれたメニューの試食及び事業者へインタビュー
<対 象> 小学生（4～6年生）・中学生
※令和6年度時点（和歌山市内在学中の方。居住地は問いません。）
<人 数> 4組8人（1組2人）
<参加費> 無料
<募集期間> 令和6年10月11日（金）15時から令和6年10月31日（木）17時15分まで
<申込方法> 申込フォームからご応募ください。

<https://logoform.jp/form/fKMM/685129>



※応募者多数の場合は抽選になります。

※日時については、参加者決定後事業者と調整させていただきます。

（11月中で調整予定です。）

※インタビューの内容は和歌山市広報番組「ゲンキ和歌山市」での放送や和歌山市公式noteに掲載させていただきます。

【11月17日「将棋の日」開催 和歌山将棋フェスティバルでの提供】

徳川御三家の紀州徳川家に生まれ、将棋好きとしても知られる徳川吉宗は、江戸城内の年中行事であった「御城将棋」の式日を11月17日に定めたとされています。その「将棋の日」に開催される「和歌山将棋フェスティバル」において、竜王が選んだ「勝負めし」の食事券を大会の特典として提供します。

- <特 典> 4ブロックの優勝者へ竜王が選んだ「勝負めし」食事券
S級（四段以上）、A級（1級～三段）、B級（2級以下）、小・中学生の部
<開催日> 令和6年11月17日（日）「将棋の日」 会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
<主 催> 和歌山将棋フェスティバル実行委員会